

# 十種ヶ峰だより

第61号 2017. 1



## 「春が北」

所長 河本 太

新春明けましておめでとうございます。2017年（平成29年）も皆様にとって良き一年となりますように。

今年も十種ヶ峰青少年自然の家のご利用をよろしく願っています。

さて、タイトルですが、「春が来た」とか「北国の春」ならわかりますが、「春が北」とは？

今から何十年か前、地理の授業で恩師が教えてくれた一説です。「北半球のカナダ、アメリカでは、北の寒冷地に春小麦が、やや南の温暖な地域に冬小麦が栽培され

ている。」とのこと。

では、なぜ北は春小麦、南は冬小麦なのでしょう。

春小麦は、北の寒冷地で氷点下や

積雪を避けるため、暖かくなってきた春に種を播き、秋にはすぐ収穫する小麦、一方、温暖な南では、秋に種を播き、氷点下になりにくい冬を越して長く栽培し夏に収穫するため冬小麦と呼ぶようです。結局、播種時期と栽培期間が大きく違うようです。ですから北半球では、高緯度の北に春小麦が、その南に冬小麦が栽培される、いわゆる「春（小麦）が北」というわけです。もちろん標高差が無ければですが。

話は変わって、最近では麦の栽培が減少したためか、あまり目にすることはありませんが、1～2月といえば「麦踏み」の様子が思い出されます。

「鳥からすなきて木に高く 人は畑はたに麦を踏む

げに小春日ののどけしや かへり咲きの花も見ゆ」

文部省唱歌「冬景色」2番より

思い起こせば、霜柱が立つ寒い朝、小学校への登校時に見かけた原風景です。

あのころは、麦の苗を足で踏むことがどうして麦の成長に欠かせないのかわからず不思議に思えたものです。

こんな日は必ず学校では、担任の先生が「朝の集い」で説明してくれたことをふと思い起こします。

「いいか皆さん、麦は酷寒の中、せっかく苗が育ち始めたのに踏まれ傷つけられながらも春には大きく成長し、夏には立派な実（種）をつけるんだよ。君たちも麦のように試練に耐えて・・・云々」と。でも、「なぜ麦を踏むんだろう」の疑問は解決しないままでした。

そこで、この齢になって調べてやっとわかりました。

①霜柱が立つと麦の根が押し上げられ切れて水分を苗に供給できず枯れてしまうので踏んで押し下げる。

②麦踏みで苗が傷つくことでエチレンホルモンが発生し、茎を太く丈夫にする。

色々ありますね。でも、「朝の集い」で担任の先生がおっしゃった訓話。気概だけは持ち続けたいものですね。

最後に、新春、今年は酉年を迎えました。十種ヶ峰もこれから冬一色から春色へと変化します。雪原から新芽

がのぞき、鳥の渡りやさえずりを見聞きできます。手で触れ、肌で感じ、また、鳥瞰しながら、本青少年自然の家の本質である、「自然と人を愛す」を追究し、実践していきたいと願っております。



今年2月～3月の主催事業は以下のとおりです。

### 冬のアドベンチャー教室 ②

期日：2月11日（土）～2月12日（日）

対象：親子50名まで

内容：ゲレンデスキー、歩くスキー、雪遊び

締切：1月27日（金）まで

### とくさがみね森のチャレンジコース 体験会 ②

期日：3月11日（土）

対象：19歳以上の方15名まで

内容：森のチャレンジコース体験

：締切：3月3日（金）

### 春のアドベンチャー教室

期日：3月18日（土）～3月19日（日）

対象：小学校4～6年生18名まで

内容：十種ヶ峰登山、野外炊事、津和野ハイキング

締切：3月3日（金）

とくさがみね

## 森のチャレンジコースの紹介

### Jタワーエリア

このエリアは十種ヶ峰青少年自然の家を代表するロープスコースのエリアです。本館から十種ヶ峰スキー場のゲレンデを200mほど横切った森のチャレンジコースの入口付近に設置されています。

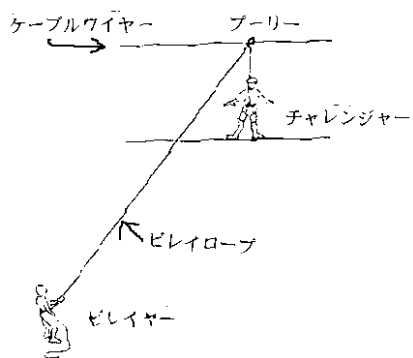
#### Jタワー

今回はこのエリアの中心に位置するJタワーについて紹介します。



この施設は、\*ハイエレメントのロープスコースの巨大な複合施設です。(このエリアに配置した\*ローエレメントは次号で紹介いたします)。

Jタワーの上部に張られたケーブルワイヤーに取り付けられたプーリー(滑車)にビレイロープ(命綱)を通し、ロープの一方をチャレンジャーの安全ベルト(ハーネス)に金具で装着します。



もう片方のビレイロープを地上でビレイヤー(支える人)が安全ベルトに装着された金具を使いロープをキープコントロールします。

#### \*ハイエレメントとは

地上約10mに設置され、安全ベルトとロープでグループメンバーに安全を確保してもらいながら行います。

#### \*ローエレメントとは

低い位置に設定されたエレメントです。グループで相互に支え合いながらチャレンジするのが特色です。コミュニケーションをとる中で次第に信頼関係が形成されていきます。

Jタワーに設置してあるハイエレメントは以下のとおりです。



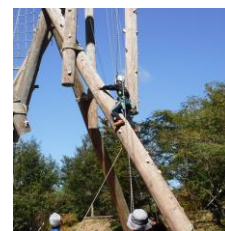
#### ①ゆらゆら丸太 Swinging Log

タワーの上部から吊り下げられた丸太に取り付けられたホールド(突起)を頼りに登ります。ビレイロープで支えられていますが、揺れる高所でのチャレンジは勇気が求められます。

められます。

#### ②インサイドクライム Inside Climb

数本の斜めに配置された丸太を地上から約10mの頂上まで登ります。タワーのてっぺんからの眺めは最高です



#### ③ジャイアントラダー Giant Ladder



2.4m幅程の丈夫な角材の両サイドをワイヤーでつないだ5段ほどの巨大なはしごです。1~4名で登りますが両サイドのワイヤーは触れることはできません。工夫とチャレンジャー同士の協力が必要となります。

#### ④カーゴネット Cargo Net

縄で編みこんだ網(ネット)を上ります。網が前後左右に揺れますので、手足をしっかりと網にキープすることと、地上からの支援の声掛けが大切になります。



なお、各エレメントの動画は下記のHPアドレスでご覧いただけます。

動画 [www.youtube.com/watch?v=vH6qAbzcXE8](http://www.youtube.com/watch?v=vH6qAbzcXE8)

いかがでしたか、自分もチャレンジしてみようと思う方は前項の**とくさがみね森のチャレンジコース体験会②**に是非ご参加ください。お待ちしております。

次回はJタワー周辺に設定されたローエレメントを特集します。

### 山口県十種ヶ峰青少年自然の家

〒759-1602 山口市阿東嘉年下1883-2

TEL: 083-958-0033 FAX: 083-958-0705

Mail: seed-10@c-able.ne.jp

HPアドレス <http://www.c-able.ne.jp/~seed-10/>